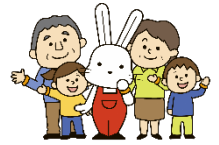


南向台小学校

認知症キッズサポーター養成講座



----- 11/6(5&6年生)・11/7(4年生)対象 -----



はじめて南向台小学校での開催でした！  
地域福祉活動を熱心に取り組む南向台住民の声を取り入れた講座にしたいという思いから、民生児童委員や自治会の方と打ち合わせを行いました。地域のみなさんからは…「地域のことを知ってほしい」「挨拶してもらえるとすごく嬉しい♪」「誰にでも優しく声をかけてほしい」など地域の子もたちに期待することや自分だったらこうしてもらえたら嬉しいという言葉が聴くことができました。

講座では、高齢者のからだところの変化と認知症について学び、認知症の人の気持ちを考えることができました。  
寸劇では、職員と先生のやりとりを真剣に見聞きし「おばあちゃん危ないよ」と声をかけたり、児童も一緒に劇を盛り上げてくれました。



グループワークでは [関わり方で良かったところ][私たちにできること]を住民さんと児童と一緒に話し合いました。

🌸住民さんの声🌸

「認知症でなくてもボケてるって言われると悲しくなるんだよね」「間違っているけど、優しく教えてもらえると嬉しい」など

⇒**我が事**として話されているのが印象的でした。

🌸児童の声🌸

「元気よく挨拶をする」「自分で働いたお金で今度はおばあちゃんに色々買ってあげたい」「認知症のおばあちゃんに声をかけるのが怖かったけど、認知症の人の気持ちを知って、今度はおばあちゃんにいっぱい話しをかけたかった」など

⇒高齢者に対する**思いやり**や**優しさ**があふれていました。

受講後児童へ選択式のアンケートをしました。  
[認知症の病気について][認知症の人への対応]に参加者全員が分かったに○をつけていて、認知症の理解が深まったようです。

児童からは…

- 📍 認知症の人や困っている人へ優しく声かけや手伝いをする
  - 📍 認知症の人について、もっと学びを深めたい
  - 📍 大人になったら介護のお仕事をしたい
- …という回答もあり、高齢者を大切に思う心が豊かになったと感じました。



今回、南向台小学校では認知症キッズサポーター養成講座の開催に向けて、民生児童委員さんと一緒に学校へ足を運ばせていただきました。地域の力を借りながら講座をすすめたことで、あらためて住民さんの力を感じるとともに、開催までの苦労や喜びも共有できました。劇やグループワークで、児童の素直な気持ちに触れることもでき、南向台地区のこれからは楽しみにになりました。

南向台には、児童のますます元気な挨拶が聞こえ、思いやりあふれる地域になっていくことでしょう。